

## 2018 年度委員会抱負並びに事業活動計画(案)

委員会	社会開発委員会
担当副理事長	南出 誠
委員長	八幡 洋一
副委員長	白澤 旭
委員会開催日	7 日、23 日
LOMスローガン	
委員会スローガン	感じよう・創ろう・繋げよう！ 革新する「わがまち」
委員会抱負	
<p>公益社団法人守山青年会議所は、創立以来「明るい豊かな社会」の実現に向け、人・地域・社会が連携し共栄できる事業を展開してまいりました。これまでの事業を通じ、多くの方々と共に活動することが、魅力ある地域づくりに繋がってきました。しかし、現在は人口が増加している「わがまち」であっても、将来の人口減少は確実な未来であり、日々変わりゆく社会情勢に対応できる「地域力」を市民の方々に育み続けていただくことが、我々にとって重要な課題であります。</p> <p>本年、当委員会では、「わがまち」の未来を描き実現することのできる地域リーダー創成のため、子どもたちが主体性をもって参画する事業を展開致します。子どもたち自らが「わがまち」の素晴らしさや魅力を体験していただき、その活動の中で子どもたち各々が自身の内面や周囲の方々、また自らの郷土守山という「まち」を感じ、他者への感謝・思いやり・人を愛する心そして充実感・やりがいを感じ地域への愛郷心を育むことを目指します。また、そのためには地域住民・行政・他団体との連携構築が必要と考えます。「わがまち」の未来を担う子どもたちの参画によって、大人だけでは認識することのできなかった「わがまち」の新たな魅力を地域住民の方々にも発見していただき、我々守山青年会議所メンバーがその活動を考察することにより、子どもたちが感じた魅力を後世に伝えていく社会開発事業にいたします。</p> <p>社会開発事業を通じて、我々は10年、20年先の未来を見据えた活動をしていかなければなりません。子どもたちが「ひと」と「ひと」、「ひと」と「まち」の絆を深めていき、その子どもたちをとりまく地域の方々と共にする活動が更なる「地域力」の基礎となることを確信しております。そのため、当委員会メンバーは、調査や研究を重ね「わがまち」に貢献できるよう一丸となって活動してまいります。</p>	
事業活動計画	
1. 社会開発事業における調査・研究（通年） 2. 成人式祝賀駅伝（1月） 3. 京都会議（1月） 4. 例会ホスト企画設営（5月） 5. 社会開発事業（8月） 6. ブロック大会（9月） 7. 例会ホスト企画設営（11月） 8. ハーフマラソン（12月） 9. 報告書作成	
意見・・・「地域力」とはどういう意味ですか？	
対応・・・「地域力」とはまちの構成員（市民・民間団体・公共団体）がまちの価値を創造する力です。	
意見・・・子どもたちの対象年齢は？	
対応・・・小・中学生を対象としている。	
意見・・・「後世に伝えて」はどのようにしてつたえるのか？	
対応・・・事業終了後に報告書を作成します。また事業活動計画に報告書作成を追記	
意見・・・「守山」というのが第三者的なので精査してください	
対応・・・「わがまち」に精査しました	
意見・・・「未来の守山の革新」の文章のつながりがどうなのか？	

対応・・・文章を精査しました。
意見・・・「先駆者」の文言精査
対応・・・文章を精査しました。
意見・・・「魅力ある地域づくりに繋がることを確信しております」の文章精査
対応・・・文章を精査しました
意見・・・三段落目がメンバーに対しての文章になっているのでは？
対応・・・文章を精査しました

